

荒山&鍋割山山行報告

【山行日】2020年12月27(日) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 6:00
【費 用】マイカー2台 : 1,200円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、青柳、安西、石澤、齊藤、島田、清水カ、関、鶴見、福島、
【コースタイム】岩舟支所 P6:00=姫百合 P7:30/7:50~
荒山高原 8:40/8:50~荒山 10:00/10:10~
東屋 11:20/11:50~荒山高原 12:00~鍋割山
12:50/13:05~荒山高原 13:35/13:45~姫百合 P
14:15/14:30=あいの山の湯 14:55/15:10=
岩舟支所 P16:30



初級雪山トレーニング山行として計画したが、予想より多数申込みがあり11名での山行となった。登山口の姫百合駐車場に着き、トイレを済ませて出発の準備をし、ストレッチを行って出発する。



天気は快晴で、雪山登山には絶好の好天に恵まれた。道標に従って登山道に入り、木の階段状の道に登って行くが、雪は少なくツボ足で登れる。檜の植林帯を過ぎると岩が多く傾斜が増すが、そのまま登り切ると広く平坦な荒山高原に出る。休憩を取り衣服調整をし、心配な人はアイゼンを付ける。ツツジの群落を抜けて登るが、左手には落葉した樹間から谷川連峰が真白く輝いて見える。登山道に雪はあるが少なく、陽当たりが良い場所は地面が露出していた。やがてカエデやミズナラの自然林を歩く

ようになり、傾斜が緩い場所で小休止する。リンゴや菓子などをいただき、水分も補給する。針葉樹が混じるようになると傾斜がきつくなり、ロープを使って登る箇所が現れる。2つ目のロープで急坂を登ると傾斜が少し緩くなり、まもなく大きな祠が祀られた荒山山頂に着く。山頂は眺望は得られないが、少し先まで行くと谷川岳や尾瀬、日光連山が見渡せる。リンゴや菓子を食べ、記念写真を撮ったら道標に従って避難小屋方面へ下る。南東に向かって尾根を下って行き、左側に足尾の山々を見ながら下る。避難小屋で道標に従って右折し、快適な道を下って行くと東屋に着く。ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてスープやカップ麺とおにぎりをいただく。



出汁巻き卵やキンピラゴボウ、沢庵等が出て賑やかなランチとなった。ランチが済んだら荒山高原に向かって右に進む。



陽当たりが良い道を緩やかに下って行き、涸れた沢を渡ると緩やかな登りとなり荒山高原に出る。ここから鍋割山へは荒山と反対側に付けられた登山道を進む。鍋割山への登山道は良く整備されており、雪も無いのでとても歩き易い。緩やかに登って行き、最初のピークが「火起山」と呼ばれ浅間山から谷川連峰の絶好の展望台である。素晴らしい展望に皆さん大喜びで、スマホで写真を撮りまくっていた。緩やかにほんの少し下り、

登り返したピークは「竈山」で鍋割山よりも10m高い。

竈山からの眺望も素晴らしく、楽に登れて展望が良いので皆さん気に入ったようである。ここからも一旦緩やかに下り、ほんの少し登り返すと鍋割山山頂に着く。山頂には大勢の登山者が休憩しており、我々も記念写真を撮ったら大休止する。山頂は東側から南側の展望が開け、関東平野は良く見えるが谷川連峰は見えないので残念。日当たりが良く暖かいので、休憩には絶好の場所である。チョコやゼリーなどおやつをいただき、のんびり景色を楽しんだら下山する。下山は往路を戻り、火起山でもう一度絶景を楽しんでから荒山高原に戻る。荒山高原で最後の休憩を取り、ブッセを食べて姫百合駐車場に向かう。途中からトイレに行く人が先行し、予定より早く駐車場に着く。靴を履き替えて、トイレを済ませたら帰路につく。途中、あいのやまの湯の直売所に寄り、野菜やお花をいっぱい買い、予定より早く岩舟支所に帰着した。

